

2025 年 6 月 2 日

各 位

会社名 株式会社高見沢サイバネティックス

代表者名 代表取締役社長 高見澤 和夫

(コード番号：6424 東証スタンダード市場)

小田急電鉄株式会社様 3 駅（千歳船橋駅、祖師ヶ谷大蔵駅、喜多見駅）で
当社腰高式ホームドアをご採用いただきました

株式会社高見沢サイバネティックス（本社：東京都中野区、代表取締役社長：高見澤 和夫）は、小田急電鉄株式会社様（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：鈴木 滋）より、新たに「千歳船橋駅」「祖師ヶ谷大蔵駅」「喜多見駅」の 3 駅で、当社「腰高式ホームドア」（以下「ホームドア」）をご採用いただくことになりましたので、お知らせいたします。

< 背景 >

小田急電鉄様では安全対策の強化に取り組まれており、「2025 年度 鉄道事業設備投資計画」（5 月 13 日付）において、今年度はホームドアを 5 駅全 10 ホームに設置し、運用を開始する計画を公表されております。

この度、この 5 駅のうち、4 月 10 日より運用が開始されている豪徳寺駅に加え、「千歳船橋駅」「祖師ヶ谷大蔵駅」「喜多見駅」でも当社製品をご採用いただくことになりました。

なお、小田急電鉄様には、これまで「新宿駅地下ホーム」「登戸駅」「中央林間駅」でも当社ホームドアをご採用いただいております。今年度設置の 4 駅を加えると計 7 駅になります。

< ホームドアの特長 >

- (1) 当社独自の「緊急脱出口」を装備しています。
- (2) ホームドアのシステムは、ホームの天井から吊り下げる形で設置された表示機やセンサー等と連携して稼働しています。当社では、鉄道を利用されるお客様の安全や設置工事の負担軽減を目的として、これらの天井から吊り下げている機器を地上に設置する「地上完結型システム」の開発に取り組んでおります。

今回設置される 3 駅では、豪徳寺駅で初めて採用された、乗務員や駅係員が、列車が定位置に停車したか、ホームドアが正常に動作しているか等の情報を確認する「表示機」をホームドア内に設けたタイプの機器になります。



【ご参考】

小田急電鉄様 豪徳寺駅

【 関連プレスリリース 】

○ 小田急電鉄様 プレスリリース（2025 年 5 月 13 日）

「 2025 年度 鉄道事業設備投資計画

～「安全対策の強化」と「サービスの向上」に 4 3 6 億円！

鉄道事業の持続的な進化を目指します～」

<https://www.odakyu.jp/news/h3de7600000040tz-att/h3de7600000040u6.pdf>

○ 当社 プレスリリース

「小田急電鉄株式会社様 中央林間駅 1・2 番線で当社腰高式ホームドアをご採用いただき運用を開始しました」（2025 年 2 月 3 日）

https://www.tacy.co.jp/file/information/6424_20250203.pdf

「小田急電鉄株式会社様 豪徳寺駅で当社ホームドアシステムをご採用いただきました」

（2024 年 11 月 27 日）

https://www.tacy.co.jp/file/information/6424_20241127.pdf

■高見沢サイバネティックスのホームドアの取組みについて

高見沢サイバネティックスでは、「緊急脱出口を装備した腰高式ホームドア」をはじめ、3 本のバーが上下方向に動いて開閉するタイプの「昇降バー式ホーム柵」など、当社独自の機構を備えたホームドアを開発しております。

また、「地上完結型システム」の開発を進めるとともに、今後も外付けのセンサーによる回送列車判定システム、列車停止位置検知システム等のホームドア関連システムにも注力し、ホームドアシステム全体としてご提供できるよう邁進してまいります。

これまでに、利用者が多い都心のターミナル駅からケーブルカーの駅まで、様々な場所でご採用いただいております。今後も鉄道事業者様のご要望にお応えし、ホームドアシステム事業の拡大に取り組んでまいります。

【本報道に関するお問い合わせ先】

株式会社高見沢サイバネティックス

・ 広報担当 https://www.tacy.co.jp/inquiry/agreement_ir/